

〇旧習慣(じゆたう)が改善されて、家事をやが評価されて、男は仕事

女性は、毎日の生活において、家庭や職場、地域社会の中で、「男性が優遇されている」と感じているかたが多いようです。

この意識は、従来から「男は仕事、女は家庭」というような古い習慣が根付いているものと思われれます。

古い習慣が改善されることは、家事・育児・介護など社会生活を営む上で、重要な役割であるという認識が必要です。そのために、家族みんなが話し合い、お互いに協力することが必要です。

〇旧は、市で取り組みを「JWS&G」

市では、平成13年に「女と男がともに輝くまち」を基本理念とする十和田市男女共同参画社会推進計画を策定し、庁内に推進本部を設置しています。

推進本部には、各課の課長級で構成する男女共同参画社会検討委員会、職員で構成する専門部会を設置し、市の施策について検討しています。平成18年4月1日現在では、各課の事業102事業を市の男女共同参画社会推進事業として位置づけて取り組んでいます。

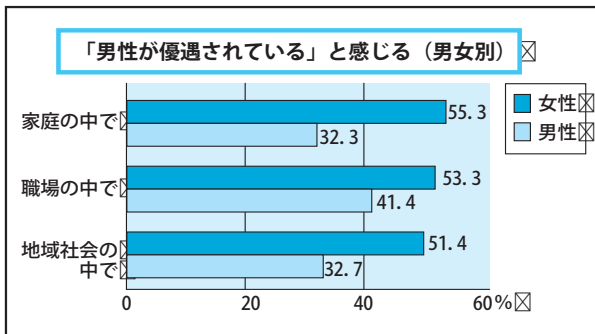


男女間の意識の差はこんなにもあります

パール アンケート結果からみる市民の意識

市民の皆さんに、男性と女性の地位の平等について、家庭、職場、地域社会の中で、どのように感じるか聞いてみました。

女性は、2人に1人が「男性が優遇されている」と感じています。



(平成17年度十和田市男女共同参画社会を進めるアンケート報告書より)

古い習慣やしきたりを見直そう！ 男女共同参画社会推進講座「みんなのしゃべり場」



▲6月の男女共同参画週間になんで行われた「みんなのしゃべり場」

▲9月の市民大学講座と共催で行われた「みんなのしゃべり場」

参加者が、お互いに意見を出し合い、家庭や職場などの問題解決に向けて考える「みんなのしゃべり場」が開催されています。

この事業は、平成17年から市の男女共同参画社会推進事業として位置づけ、意識啓発を重点に取り組んでいます。

◆「ゆっパール」の由来◆

「結ぶ」という意味のこの地域の方言「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パール」からできました。

「一人ひとりの想いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。

◆「ゆっパール」編集委員◆

市では、男女共同参画社会の推進に関し、市民の手によって、分かりやすく、親しみのある情報誌の作成を目指す十和田市男女共同参画市民情報誌「ゆっパール」編集委員がいます。

編集委員の皆さん



左から斉藤のり子さん、佐々木イス子さん、蘆野潤子さん

今後、市民の皆さんに取材したり、学校や職場に訪れて話を伺いますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ先

交流推進課男女共同参画係

(☎) ☎019-651-1111 内線20000

十和田市HPアドレス

<http://www.city.towada.lg.jp/>

danjyo/danjyo_home.htm



パール